



## 報道発表資料

令和8年3月4日

担当:教育部 生涯学習課 文化振興・リフノス係  
鈴木・谷野

電話:022-767-2197

### 「旧東北本線（通称：山線）を活かした まちづくりシンポジウム」を開催します

- 開催日時：令和8年3月22日（日）午後1時30分～午後4時
- 場所：利府町文化交流センター「リフノス」（利府町森郷字新椎の木前31-1）
- 定員：300人（どなたでも参加可能で、事前申し込み不要です）
- 内容：町の歴史的な鉄道遺産である旧東北本線（利府-品井沼間：通称山線）について、町民の理解を深め、郷土愛を醸成することを目的に開催するものです。

第1部 基調講演 「東北を大動脈として支えた山線」  
郷土史家 菅野 正道 氏

第2部 パネルディスカッション

「旧東北本線（山線）を、どう未来につなぐか」

・コーディネーター 郷土史家 菅野 正道 氏

・パネリスト

利府町機関車保存会代表 鈴木 隆悦 氏

一般社団法人タンコーカナリ代表理事 石井 宏之 氏

東北歴史博物館建造物担当技師 成田 翔音 氏

(株)三協技術文化財調査室 高橋 義行 氏

報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひ、事前の周知及び当日の様子について  
取材いただきますようお願いいたします。

■その他：

・詳細は、別紙チラシをご確認ください。

# 旧東北本線

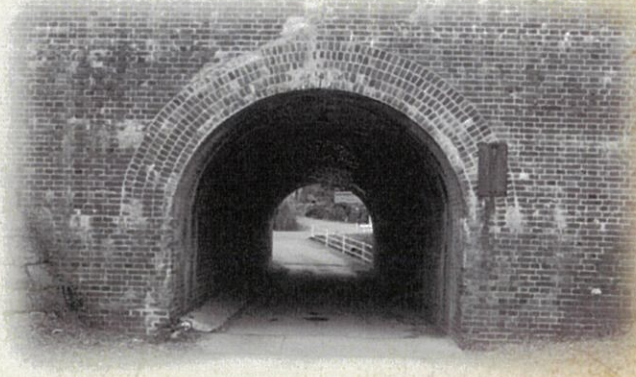
「(通称)山線」を活かしたまちづくりシンポジウム  
鉄道遺産を、まちの未来へ

**入場無料・全席自由**

(事前お申込みは不要です)

令和8年3月22日(日) 13:30~16:00【開場13:00~】

利府町文化交流センター「リフノス」多目的ホール



## プログラム

【第1部】13:45~14:30 基調講演 「東北を大動脈として支えた山線」

郷土史家 **菅野 正道** 氏

【講師プロフィール】

- ・昭和40年仙台市生まれ
- ・宮城県仙台第一高校、東北大学文学部を卒業し、同大学院修士課程修了
- ・平成3年から仙台市博物館で仙台市史編さん事業に従事、市史編さん室長、主幹兼学芸普及室長を歴任。平成30年3月に退職。
- ・退職後は、仙台を中心とした東北地方の歴史に関する調査・研究を行い、雑誌や新聞への原稿執筆、各種講演・講座で講師を務めている。  
特に、東北地方の戦国時代史や仙台藩の歴史、近代の鉄道史に関心がある。



【第2部】14:45~16:00 パネルディスカッション

「旧東北本線(山線)を、どう未来につなぐか」

コーディネーター **菅野 正道** 氏

パネリスト

利府町機関車保存会代表 鈴木 隆悦氏  
一般社団法人タンコーカナリ代表理事 石井 宏之氏  
東北歴史博物館建造物担当技師 成田 翔音氏  
株式会社三協技術文化財調査室 高橋 義行氏



※満席の場合は、入場をお断りすることがございます。  
あらかじめご了承ください。

主催：利府町教育委員会  
担当：教育部 生涯学習課 文化振興・リフノス係  
TEL：022-767-2197 E-mail：bunka@rifu-cho.com